

あつま

生涯学習だより

発行 厚真町教育委員会 電話27-2495

主な記事

- 朗読とギターの演奏会
- 道内外注目！厚真の遺跡発掘成果
- 1月定例会教育委員会の報告
- 第36回北海道スポーツ少年団スピードスケート大会成績
- 第34回スケート記録会成績
- 図書室だより
- 放課後子ども教室活動紹介

朗読とギターの演奏会が行われました♪

2月7日（金）、青少年センター2階ホールでフリーアナウンサーの田嶋扶二子さん（朗読）と古楽器（19世紀ギター）奏者の廣田幸政さんによる演奏会が行われました。

朗読では宮澤賢治の「度十公園林」、角田光代の「ぬいぐるみ（『Presents』より）の他にアンコールとして、「最初の質問」（詩：長田弘 絵：いせひでこ）が披露されました。

本に描かれている風景や登場人物の心情を、田嶋さんの豊かな語り口と、廣田さんのオリジナル曲をギターの音色で重ね合わせ、物語の世界を豊かに表現し、訪れた約40名の観客を魅了しました。

1時間30分程度の時間でしたが、訪れた方からは、「『Presents』では思わずうっとりしてしまった」、「また機会があれば是非来たい」などと感想を話され、中には演奏を終えられて観客を見送る2人に「感動しました」と伝える方も見られました。

～出演者プロフィール～（敬称略）

田嶋 扶二子

テレビ静岡入社、その後フリーとなり活動。

道新文化センター等で「音読による脳トレ教室」を開講。

廣田 幸政

道内で様々な楽器、朗読との共演。数少ない19世紀ギター（古楽器）の奏者。廣田ギター教室主宰。

2人の活動では、毎秋札幌の時計台ホールで宮澤賢治の作品を取り上げた演奏会を主催している。



田嶋さん（左）と廣田さん（右）

☆青少年センターホールを利用してみませんか？☆

趣味を嗜んでいる方で、展示や演奏など、発表の場がほしいとお考えの方、自分たちで企画・運営してイベントをやってみたいけれど場所がないという方……青少年センターホールはいかがでしょう。観客席はおよそ50席程度、展示スペースもあります。

ご興味を持たれた方はお気軽に教育委員会社会教育グループ（TEL 27-2495）までお問い合わせください。

ふまねっと体験教室を行っています！

1月28日（火）、厚真町で第1回目となるふまねっと体験教室を身障者協会厚真支部新年交流会・ミニ学習会で行いました。はじめは少し戸惑いながら運動していた参加者も、繰り返しステップを踏んでいくうちにペースをつかんだ様子で、上手にステップが踏めたときには会場から拍手や歓声がわき上がり、終始和やかな雰囲気が進められました。

参加者からは「思っていた以上に楽しい運動で気持ち良く汗をかけた」「是非またやってみたい」などの声が聞かれました。

お友達、仲間を誘って健康づくりをしませんか。教育委員会社会教育グループ（27-2495）までご相談ください。

発掘規模拡大中！ 今年も驚き！ 注目の発掘成果

12年目となる厚幌ダム建設事業に関連する遺跡発掘調査は、北海道埋蔵文化財センターと合わせて町内外からの作業員等230人体制で7カ所の遺跡発掘調査となりました。このうち町教委で調査した2遺跡の主な出土品を紹介します。

■シヨロマ1遺跡

今から約5,100年前の長軸10メートル以上の大型住居跡3軒を中心に14軒の縄文集落跡を発掘しました。この時期としては、道央部で大規模な集落跡と言え、ヲチャラセナイ遺跡とほぼ同時期の集落跡でもあり、この山奥で見つかると思えない発見となりました。

出土品では十勝や富良野、函館方面で作られた縄文土器のほか、道内で16遺跡から24点しか見つかっていない大変珍しい「棍棒形石器」が3点（道内最多）、主に空知地方で見つかる「丸のみ形石斧」のほか、10～15センチの大きな黒曜石の原石が3つほどまとまって出土するなど、これまでの近隣市町村の調査で見つかっていない貴重な資料がたくさん出土しました。

■シヨロマ3遺跡

約1,800年前の続縄文時代の3体合葬墓が見つかり、石の矢じりが109点も出土しています。この時期の合葬墓としては道内初の発見で、謎が深まります。約800年前の擦文時代の地層からは、「鎧の一部」がまとまって見つかりました。道内でも数例に限られ、年代のわかる発掘例としては最古の事例で、奥州藤原氏との関連性も視野に入れるべき資料です。

これらは厚真町以外の道内他地域、本州からもたらされたもので、縄文時代から内陸交通路の拠点であったことがさらに裏付けられました。



◀シヨロマ3遺跡で発見された
鎧の一部

同遺跡で発見された副葬品▶



厚真スピードスケート少年団が 遠征の地で大活躍！～in旭川

1月17～19日にかけて行われた「第36回北海道スポーツ少年団スピードスケート競技大会」で、赤間朱樹さん、山崎雅妃さん、尾谷琴音さん、大捕匠翔君の4人が出場し、出場したレースで全員がメダル獲得するなど、大活躍しました。成績は以下のとおりです。（敬称略）

赤間朱樹	小学4年女子500m2位 小学4年女子1000m2位
山崎雅妃	小学4年女子500m3位 小学4年女子1000m3位
尾谷琴音	小学5年女子500m3位 小学5年女子1000m1位
大捕匠翔	小学5年男子500m3位 小学5年男子1500m3位



1月定例教育委員会

1月30日に開催された定例教育委員会の会議内容について報告します。

◆報告事項

鹿沼 長門茂明さんから長いも 24.4kg 学校給食センターに寄贈/第66回厚真町成人式/第33回厚真町小中学校スピードスケート記録会/第19回室内ソフトボール大会/読書感想文コンクール表彰式など（7件）

◆議案

厚真町社会教育委員設置条例の一部改正について

◆協議事項

学校給食費の改定について/全国学力・結果における本町の公表について

◆その他

胆振管内教育委員会委員研修会

◆問合せ

教育委員会学校教育グループ ☎27-2494



第34回厚真町小中学校スピードスケート記録会～成績～

2月1日、町民スケートリンクで『第33回厚真町小中学校スピードスケート記録会』が開催されました。町内の小学生59人が参加。厳しい寒さの下、選手たちは日ごろの練習の成果を力一杯発揮し、健脚を競い合いました。

成績（敬称略）

【小学男子】

- 《100ㇿ》 ▽1年①齊藤永渉（厚真中央）【大会新】②山本康太（厚真中央）③藤樫悠人（上厚真）
 ▽2年①藤岡祐人（厚真中央）②井島隼太（厚真中央）③田中優吾（厚真中央）
 ▽3年①清野裕太（上厚真）【大会新】②新井田勇仁（厚真中央）
- 《250ㇿ》 ▽1年①安達陽（上厚真） ▽2年①大浦瑛士（厚真中央）
 ▽3年①岩間堅士（上厚真）②梶谷征矢（厚真中央）③蔵重快（厚真中央）
- 《500ㇿ》 ▽1年①山崎煌丞（上厚真） ▽2年①尾谷駿文（厚真中央）
 ▽4年①海沼志成（上厚真）②安達元太（上厚真）
 ▽5年①大捕匠翔（上厚真）②藤田怜李（厚真中央）③赤間雲龍（厚真中央）
- 《1000ㇿ》 ▽5年①藤田怜李（厚真中央）②龍崎海斗（厚真中央）
- 《1500ㇿ》 ▽5年①大捕匠翔（上厚真）
- 《2000ㇿリレー》 ▽①上厚真小学校（藤江憲汰・海沼志成・安達元太・大捕匠翔）

【小学女子】

- 《100ㇿ》 ▽1年①岩間夕七（上厚真）【大会新】②中島愛梨（厚真中央）③寒河江瑞希（上厚真）
 ▽2年①高橋希乃花（厚真中央）
- 《250ㇿ》 ▽1年①佐々木結華（厚真中央）
 ▽2年①江川京珠（厚真中央）②近藤琉莉夏（厚真中央）③松澤杏（厚真中央）
 ▽3年①西村優菜（厚真中央）②池田葵（上厚真）
- 《500ㇿ》 ▽2年①山崎桜（上厚真） ▽3年①吉岡美海（厚真中央）②太田あかり（厚真中央）
 ▽4年①赤間朱樹（厚真中央）②山崎雅妃（上厚真）③藤田李望（厚真中央）
 ▽5年①尾谷琴音（厚真中央）②山野下明音（厚真中央）
 ▽6年①長門実空（上厚真）②西村芽依（厚真中央）③笠原あいか（厚真中央）
- 《1000ㇿ》 ▽4年①赤間朱樹（厚真中央）②山崎雅妃（上厚真）
 ▽5年①尾谷琴音（厚真中央）②山野下明音（厚真中央）
- 《2000ㇿリレー》 ▽①厚真中央B（山野下明音・藤田李望・宮野茉央・尾谷琴音）



★ 皆さんお疲れ様でした！

平成26年2月28日発行

青少年センター図書室

TEL 27-2495 (平日)

TEL 27-3977 (土日)

図書室だより

2013年受賞図書総ざらい

日本には芥川龍之介賞や直木三十五賞に代表される文学賞がありますが、新聞社や出版社が主催する文化・学術賞などを含めると、その数は300とも400ともいわれています。

今回は2013年の主な受賞作を紹介します。

芥川賞

abさんご 黒田夏子/著
爪と目 藤野可織/著

泉鏡花文学賞

往古来今 磯崎憲一郎/著

柴田錬三郎賞

夢幻花 東野圭吾/著

産経児童出版文化賞 大賞

タマゾン川 山崎充哲/著

伊藤整文学賞 小説部門

K 三木卓/著

日本絵本賞 大賞

オオカミがとぶひ

ミロコマチコ/著

大江健三郎賞

嵐のピクニック 本谷有希子/著

谷崎潤一郎賞

愛の夢とか 川上未映子/著

本屋大賞

海賊とよばれた男 上・下

百田尚樹/著

直木賞

何者 朝井リョウ/著

等伯 上・下 安部龍太郎/著

ホテルローヤル 桜木紫乃/著

紫式部文学賞

東京プリズン 赤坂真理/著

日本絵本賞読者賞

しろくまのパンツ

tupera tupera/作



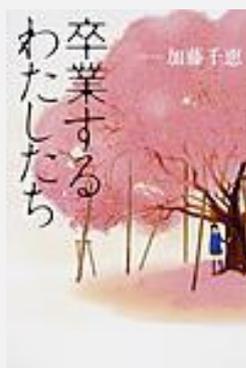
この他にもまだまだあります！2月15日から図書室で特集しているので覗いてみて下さい♪

図書室からのおススメ本♪



卒業

小林深雪/著 他
卒業証書の数だけ、物語がある……。児童書や漫画原作で人気の5人の作家が「卒業」をテーマに書いたアンソロジーです。



卒業するわたしたち

加藤千恵/著
高校、自動車学校、バイト、親子・夫婦・恋人関係など、あらゆる卒業についての短編集です。

☆イチオシ☆

○『島はぼくらと』辻村深月/著

「旅立ちの日はもうすぐ。別れる時は、笑顔でいよう。」
瀬戸内海の小さな島、冴島。島の子はいつか本土に渡る。

卒業前に起こる事件や、1ターン青年の後悔、島を背負う大人たちの覚悟、自らの淡い恋心……故郷を巣立つ前に知った、大切なこと。

旅立つ若者だけでなく、送り出す方々にも是非読んでいただきたい一冊です。



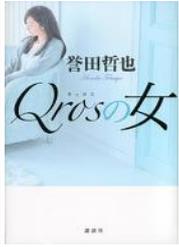
新着図書紹介

ここに書いてある以外にもたくさんの新着図書があります。みなさんどうぞご利用下さい。

一般書

『Qrosの女』

誉田哲也 / 著



芸能記者の知はCMで話題の「Qrosの女」の正体を探り、ようやくネタを仕入れ、張り込むのだが……。

- ・ 象の墓場 榆周平 / 著
- ・ ペテロの葬列 宮部みゆき / 著
- ・ ジョン・マン〔4〕 山本一力 / 著
- ・ 舞台 西加奈子 / 著
- ・ 一千兆円の身代金 八木圭一 / 著
- ・ 陰陽師 蒼猴1巻 夢枕獏 / 著

児童書

『黒魔女の騎士グューバッド』

Part1』

石崎洋司 / 著



卒業をひかえた「火の国」王立魔法学校のグューバッドと親友メリュージュ。

外出禁止令のなか街へ出かけると……。

- ・ 鬼まつりの夜 富安陽子 / 作
- ・ ファイヤー・クロニクル ジョン・スティーヴンス / 著
- ・ お面屋たまよし〔3〕 石川宏千花 / 著
- ・ かいけつゾロリのまほうのランプ〜 原ゆたか / 著

実用書

『面倒だから、しょう』

渡辺和子 / 著

面倒だから、しょう



『置かれた場所で咲きなさい』でベストセラーを記録した著者の、毎日をあたらしく、ていねいに生きるための言葉を紹介しします。

- ・ ゼロ戦と日本刀 百田尚樹 / 著
- ・ ぼくは戦争は大きい やなせたかし / 著
- ・ 人生はドンマイドンマイ 美輪明宏 / 著
- ・ 春夏秋冬 365日レシピ 主婦と生活社
- ・ はかりらずの混ぜて焼くだけおやつ 飯塚有紀子 / 著

絵本

『ひとりでおとまりしたよるに』

フィリパ・ピアス / 文



エイミーは「たからもの」を3つもって、おばあちゃんのいえにはじめてひとりでおとまりにいきました。夜、さみしくなったエイミーは……。

- ・ にんじん だいこん ごぼう 植垣歩子 / 再話
- ・ 白い街あつたかい雪 鎌田実 / 文
- ・ まてまてももんちゃん とよたかずひこ / 作
- ・ なんのにおい ふゆ ビーゲン・セン / 作
- ・ しろずもう 丸山誠司 / 作

～図書室からのお知らせ～

■図書室開館時間と休館日

【青少年センター図書室】

午前9時から午後5時(月・水・金・土・日)

午前9時から午後7時(火・木)

3月21日【金】は祝日のためお休みです。

【厚南会館図書室】

午前9時から午後5時(月～日)

※毎月5日・20日が土日・祝日の場合は休館となります。

■読み聞かせ

おはなしのびっ子

3月27日【木】午前10時30分から午前11時

■3月の移動図書

5日【水】

ともいき荘

午前10時30分～11時00分

7日【金】

上厚真小学校

午前10時35分～10時50分

14日【金】

上厚真小学校

午前10時10分～10時25分

宮の森保育園

午前10時35分～10時45分



☆放課後子ども教室☆

真冬が続く寒さ厳しい季節です。この寒さがあるから春になったときの暖かさが嬉しいのだとわかっていても、寒い寒いと口をついてしまいます。今年は雪の少ない厚真町ですが、子どもたちはそんな少ない雪でも関係なく外で楽しく遊んでいます。冬ならではの外遊びの楽しみを1～2月の放課後教室で見つけてほしいと思っています。

1月後半のプログラムでは、雪合戦本番に向けてまずは練習をしようと、室内雪合戦を行いました。玉入れ用のボールを使用し、2チームに分かれて体育館の中で雪合戦の練習です。ボールを当てたり、かわしたりしながら相手チームの宝物を狙います。ボールを当てられても復活できるルールを設けたので、何度もチャレンジすることができます。「攻めに行く人と宝物を守る人で分かれよう」「相手の持ち球がなくなるまで待って、それから投げれば反撃されないかも」と各チーム綿密な作戦を練っていました。先に当てた、当てられてないとケンカになることもありましたが、そのときは高学年の子が仲裁に入って解決するなど、子どもたち同士の関わりがより深いものになっているなど感じる場面もありました。



高学年になると作戦の立て方もかなりハイレベルでした。読み聞かせのわたぼうしさんのレクの福笑。上手にできた？

外での雪遊び本番。スタッフがあれこれ遊びを提案しなくても、子どもたちはすぐさま遊びを作り出していきます。雪合戦はもちろん、雪山に穴を掘ってかまくらをつくったり、自分の背丈よりも大きな雪だるまをつくったり、思い思いに雪遊びを楽しんでいる様子が印象的でした。みんなが走り回ったり、しり滑りなどで遊ぶ場を求めて、学校からちょっとお散歩をしたりもしました。安全管理の問題はありますが、子どもたちの遊び場となり得る場はまちの中にもたくさんあるのです。

2月前半のプログラムでは、学校林に冬の自然探検に出かけました。夏場は笹が生い茂り、なかなか遊び場には難しい学校林ですが、冬場は雪のおかげで奥まで入っていくことができ、子どもたちにとってはかっこうの遊び場に変身します。谷になっているところに向かってロングしり滑りを楽しむ子、倒木での木登りに夢中になる子、木の枝を集めて基地をつくり始める子。森は何も手をかけなくても子どもたちが真剣に遊ぶ素材が本当にたくさんあると改めて感じました。帰る時間になっても「まだ遊びたかったのに」「来週もまた遊びに来たい！」と後ろ髪をひかれながら帰路につく子どもたちの後ろ姿が、森遊びの魅力を物語っていました。こうした季節ごとの自然体験活動は、子どもたちの好奇心の芽を育むものと考えています。これからも子どもたちが外遊びを楽しめるプログラムをつくっていきたいと思います。



みんなの身長よりも大きな雪だるま完成！雪遊び、楽しいね☆